

令和元年12月 定例教育委員会々議録

1 日 時 令和元年12月25日(水) 午後1時30分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室102、103

3 出席委員の氏名

教育長	遠藤浩	教育長職務代理者	黒川優子
委員	山崎克弥	委員	中野信男
委員	秦久美子	委員	斎藤純郎

4 説明のため出席した職員

教育次長	宮路一規	主幹	二平芳信
学校教育課長	太田和行	子育て支援課長	白井健次
社会教育課長	石田進一	統括指導主事	関矢洋

5 本委員会書記

学校教育課 横田雄司 他1名

6 傍聴人

1名

7 会議に付議した事件

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄附報告

専決処分の報告について

報告第12号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題

協議第10号 新規共催・後援申請について

## 議 案

- 議案第 37 号 燕市社会教育施設使用料の見直しに伴う関係規則の整備に関する規則の制定について（取り下げ）
- 議案第 38 号 燕市保育園条例施行規則の一部改正について
- 議案第 39 号 燕市立認定こども園条例施行規則の一部改正について
- 議案第 40 号 燕市保育園の保育料の減免に関する要綱の制定について
- 議案第 41 号 燕市立認定こども園の保育料の減免に関する要綱の制定について
- 議案第 42 号 燕市立学校の在り方検討委員会設置要綱の制定について

## その他

- (1) 令和元年第 4 回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）
- 1) 令和元年度燕市一般会計補正予算（第 6 号）の概要について
  - 2) 令和元年度燕市一般会計補正予算（第 7 号）の概要について
  - 3) 一般質問の概要

## 8 閉 会

会議録

別紙のとおり

1. 開 会 宣 言 午後1時30分～

2. 会議録署名委員の指名 秦 久美子 委 員

3. 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定について

〈各課長が報告〉

(2) 教育長報告

〈遠藤教育長が以下のとおり報告〉

1 市議会・・・答弁していて気になったこと

- 議会答弁で繰り返したことば＝「Society5.0の実現に向けて」；それは、人にとって便利で明るい社会なのだそうである。その社会を構築し、その社会で生きていくために必要な知識、技能とそれを活用する力としての思考力、判断力、表現力を身につけさせるのが学校教育である。

そのためには、これまでの考え方の多くを捨てる方が良い。教育は元来、保守的であるので、ICT機器の活用やスマホ利用には消極的であったりする。

(共通認識すべきこと)

- ・スマートフォンの利用すべてが悪いのではなく、SNSが悪い。  
＝例えば、家族間での連絡はSNSでなくてもできる。SNSを使わせない取組の方が求められているのではないのか。
- ・PISA調査では、家庭などでインターネットを利用している生徒の得点は低くない。OECD全体では2～4時間の利用者に高得点のピークがみられる。
- きれいに命名された言葉＝「眠育」；本市では、「眠育」を「早寝、早起き、朝ご飯」として、規則正しい生活習慣の確立を目指すこととしている。正しいと思う。一方で、脳科学が発達する中で、必要とされる睡眠時間はどれくらいなのだろうか？小学校の高学年で10時間程度と書かれていると思う。午後8時に就寝、午前6時に起床ということになる。基本的に習い事などできない。  
目指すべき方向を明確にもち、言葉を使っていく必要がある。
- 根拠；いじめ防止対策推進法の制定と児童生徒の自殺者数を関連づけた質問があった。法ができたのに自殺者が減らないのはなぜか。法の制定の大きな目的は、いじめ被害者の自殺をなくすことである。もともと生徒の自殺理由では、「不明」が半数ぐらいであり、「いじめ」に起因するのは、2割ぐらいある。いじめを減らすことには必ず取り組まなければならない。しかし、児童生徒の自殺は、いじめを減らすだけでは根本的な解決にはならないことを知っておくべきである。

## 2 県などの動き

### (1) 働き方改革・・・その後

12月3日に給特法の改正が可決された。昭和46年に成立した給特法に国が手をつけたことになる。もともと6条しかない法律に第7条が追加され、「指針」の策定を義務づけ、第5条を改正し、1年間の変形労働時間制を可能とするものである。

本市としては、これから指針の策定を校長会とともに進めていく。

### (2) 大学入学者選抜において、英語の民間検定の活用とその成績提供システムの運用見送りと共通テストでの数学、国語の記述式問題の見送りが公表された。大学入試における真の公平性を改めて考えることから再スタートすることになるだろう。

### (3) 寄附報告

3件の寄附について

〈No.1、2について太田学校教育課長が説明〉

〈No.3について白井子育て支援課長が説明〉

## 4. 専決処分の報告について

報告第12号 共催・後援の教育長専決報告について

4件の後援について

〈No.1、3、4について太田学校教育課長が説明〉

〈No.2について石田社会教育課長が説明〉

## 5. 協議題

協議第10号 新規共催・後援申請について

2件の後援について

〈太田学校教育課長が説明〉

## 6. 議 案

議案第 38 号 燕市保育園条例施行規則の一部改正について  
〈白井子育て支援課長が説明〉

議案第 39 号 燕市立認定こども園条例施行規則の一部改正について  
〈白井子育て支援課長が説明〉

議案第 40 号 燕市保育園の保育料の減免に関する要綱の制定について  
〈白井子育て支援課長が説明〉

○委員（山崎 克弥）

保育料の減免に関する要綱の制定ということだが、10 月から保育料は無償化されたと理解していたが、それとは異なるものなのか。

○子育て支援課長（白井 健次）

保育料が無償化されたのは、3 歳児以上と住民税非課税世帯の 0 歳から 2 歳児であるため、それ以外の者に対して世帯の収入状況により減免を行うものである。

議案第 41 号 燕市立認定こども園の保育料の減免に関する要綱の制定について  
〈白井子育て支援課長が説明〉

議案第 42 号 燕市立学校の在り方検討委員会設置要綱の制定について  
〈太田学校教育課長が説明〉

○委員（斎藤 純郎）

今後も、地域住民の皆様にごできる限り情報提供を行い、コミュニケーションを取りながら誠心誠意対応し、ご理解いただけるような説明を行ってほしい。

○委員（中野 信男）

「燕市立学校の在り方検討委員会」の「在り方」という表現は、かなり抽象的であるため、一般の方が見た時に、施設の在り方だけではなく思想的な意味合いも含まれていると考えるのではないか。

○委員（山崎 克弥）

私も、第1条に「燕市建物系公共施設保有量適正化計画に基づく学校施設の見直し…」とあったので、建物の関係から学校の配置を考えていくものだと思ったが、第2条ではまたそれとは異なることも書かれていたので、表現を変えた方がいいのではないかと感じた。

○教育次長（宮路 一規）

この要綱は、学校施設の統廃合だけではなく、例えば令和5年度から複式学級が検討されている松長小学校のように、複式学級により学校を存続させる選択肢もあるため、それらをすべて含めた意味で「在り方」と表現している。

○委員（中野 信男）

それであれば、そういう意味合いを含めた内容を付け加えた方がいいのではないか。第1条は、施設のことにしか触れていないように受け取れる。

○教育長（遠藤 浩）

では、第1条に、この委員会が検討する内容をもう少し詳しく列記するのはどうだろうか。

○委員（中野 信男）

すべて記載するのは難しいと思うので、施設のことのみだと受け取られることのないような表現にした方がいい。

○教育長（遠藤 浩）

それでは、第1条を修正して、後日、全教育委員に持ち回りで認否を確認させていただく。それにより議決とさせていただく旨、ご了承願いたい。

○全委員

了承する。

審議の結果、議案第 38～41 号は全員異議なく原案通り議決された。

議案第 42 号は、疑義が生じたため、当日の議決は保留となった。

※12 月 27 日、議案第 42 号の修正案を全教育委員宅に持参し、書面により  
全員から異議なく修正案のとおり議決された。

## 7. その他

### (1) 令和元年第 4 回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

- 1) 令和元年度燕市一般会計補正予算（第 6 号）の概要について
- 2) 令和元年度燕市一般会計補正予算（第 7 号）の概要について

#### ○委員（中野 信男）

小池中学校体育館の照明灯交換費用の計上があるが、LED 照明に替える予定はあるのか。

#### ○学校教育課長（太田 和行）

替えるとする、大規模改造工事のタイミングが考えられる。大規模改造工事に至るまでは、現状のままの予定である。

#### ○委員（中野 信男）

詳しく調べてみてもらえれば分かると思うが、家庭用の LED 照明などは 5～7 年ほどで減価償却されると思うので、このまま現状の照明交換を続けるよりは LED 照明に替えた方がいいのではないか。

#### ○学校教育課長（太田 和行）

電球だけでなく器具の交換も伴うため、営繕建築課などと相談しながら検討していきたい。

#### ○委員（黒川 優子）

幼稚園運営費の中に、産休取得等による非常勤職員報酬増額の計上があるが、これは何名分の報酬なのか。

#### ○子育て支援課長（白井 健次）

1 名分である。

○委員（黒川 優子）

小中学校でも、校長先生から産休取得者等の代わりが配置されるか心配しているというような話を伺ったが、実際はどうか。

○主幹（二平 芳信）

確かに、小中学校でも産休取得者等の代わりがなかなか見つからない状況ではあるが、今のところ確実に補充は行っており、欠員は出していない。校長先生が心配していた時期は、まだ代替者が決まっていなかった時期だと思われる。

### 3) 一般質問の概要

8. 閉 会            午後 2 時 55 分

教 育 長 遠 藤 浩 \_\_\_\_\_

会議録署名委員 秦 久美子 \_\_\_\_\_

会議録調整者 矢川 麻里子 \_\_\_\_\_